

令和8年4月

今後の学校給食のあり方に関する 調査特別委員会会議録

1. 日 時： 令和8年4月8日（水） 午後1時00分～午後1時43分
2. 場 所： 全員協議会室
3. 出席者： 【委 員】河村委員長、岡部副委員長、松崎(正)・山上・井福・大塚・中村(真)・松崎(百)・中村(慎)・河野委員
【欠席委員】なし
【委員外議員】なし
【執行部】なし
【傍聴者】市民3名
【事務局】一瀬議会事務局長、生座本議事課係長

4. 協議内容：
 1. 協議事項
(1) 市内小中学校の給食調査のとりまとめについて
(2) 今後の調査方法について
 2. その他

5. 概 要：
(開会 午後1時00分)

○委員長（河村康之） まず、協議を始める前になりますが、執行部から連絡がありまして、A4のレジュメが入っていると思いますけれども、訂正が入っております。1月28日の第4回の今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会の執行部の説明に誤りがありましたので、修正ということでございます。

欠食の実態の説明の中で、『全校で26名の昼食忘れの確認、平均して1日5名程度の昼食忘れがある』という発言を、『全校で37名の昼食忘れの確認で、平均1日7名の忘れがあった。』ということに訂正をお願いします。」ということですので、皆さんにご報告をさせていただきます。

報告は以上です。

それでは、議事の日程、協議事項の1の議題から始めさせていただきます。

前回、市内の小中学校の給食調査を行いまして、調査の内容を取りまとめております。

資料がいっぱいありますので、事務局のほうから説明をお願いいたします。

○議事課係長（生座本隆志） 資料のご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、A3の縦でホチキス留めしたものが2部、一つは、全員制給食である小学校給食の現地調査を行って委員の皆様から提出された調査票を取りまとめたものでございます。もう一つは、選択制給食の中学校の分を取りまとめたものとなっております。

それともう一つ、A3横の資料をお渡ししておりますが、こちらにつきましては、小中学校の視察前に委員長から説明がありました特別委員会の設置目的と学校給食法の規定、あと選択制、全員制給食の制度について、それぞれの課題、論点を整理したものを1枚の資料にしたものでございます。

今回の小中学校の視察で委員の皆様から出されている意見について、記載ができるところまでは事

務局でまとめております。

○委員長（河村康之） 資料が膨大な量があつて、小さな文字で、たくさんの意見いただきましたので、昨日グループチャットで送りましたけれども、なかなか見る時間もなかったもので、皆さんの質問等を書かれた分について5分程度時間取りますから目を通していただけますか。

ちなみに2枚目の裏面のほうに、感想と問題点という形で皆さんのご意見を載せてあります。小学校、中学校含めてですね。

2クラスに分けて見ましたので、こういうクラスでもあるのかと、多分気にはなる点もあると思います。

まだ途中ですけれども、大体何となくお分かりになりましたか。よろしいですか。

やはり10人の委員さんがおりますといろんな見方もありますし、また、学校のクラスも違いますから、やり方も多少違いもあると思いますけれども、そのような形で皆さんのご意見を入れさせていただいております。

これまとめていただいたのが、小学校が中村慎一郎委員で、中学校のほうは河野委員のほうがまとめておりますから、お二人から、感想なり、皆さんのご意見をまとめた所感なりを、小学校の中村慎一郎委員から簡単に感想を述べていただけますか。

○委員（中村慎一郎） 小学校のほうについて話をいたします。

所要時間に関しては、合計がおよそ45分で、まず、給食の準備に4分半、次に給食提供時の時間が9分。喫食時ですね、食べている時間が26分、最後、下膳時の時間がおよそ6分となっております。

給食の考えについては、全員制の食缶給食は6名で、分からないが1名で、残りは記載されていない、端っこだったので見過ごしているだろうなと思われまます。

給食の準備時については、簡単にかいつまんで言うと、配膳室にクラスごとにカートが並べてあり、準備ができています。そこに先生と給食委員の児童が来て、配膳室の前に見本があり、その配膳室前で見本を見せて先生が説明して、その後、に挨拶してカートを持って行って運ぶ。この時間が大体1分ぐらいでした。

そこから児童の給食準備状況というところで、班をつくって、5年3組は8名掛ける4名で、もう一つの5年4組は4掛けるの8、そういう形だったと思います。

給食の運搬は、本当にスムーズでした。

給食の提供時の配膳、配置、手順の状況に関しては、前方に配膳台を設置して、先生も加わって配膳してあり、整然と班ごとに分かれて配膳していました。

あとは先生に関しては、先生もエプロン、三角巾を使っていて、あとは余ったスープとかの食缶を持って、先生が食べられそうな子を探して分けていったというところですね。その後、先生はいろいろ下片づけをしながら、その後、ようやくご飯を食べるという状況でありました。

喫食時は、どのクラスも班のメンバーと楽しく喫食していました。ただ、先生は、先ほど言ったように時間がかかっている、さらに10分ぐらいで給食を食べ終えた後は、次の授業の準備や宿題の採点等をされておりました。

喫食時間は、先ほど言ったとおり大体26分ということです。

下膳時は、これもすごくスムーズに、トレイとか皿、スプーン、ごみをワゴンに整頓して下膳しており、残食はほとんどなかったようです。残食があった場合は、配膳室の前に残食を捨てるケースがあり、「見た目によくない。」「衛生的にもよくない。」という声がありました。

食器の返却時もシステム化されていてスムーズでしたが、児童に関しては、給食を食べてない子もまだいましたけれども、そうじゃない子は、多分この日は特別時制だったので、本を読んだりとか静かにしていました。

最後、アレルギー配慮をしていたかについては、牛乳に関しては配膳箱のところに名前が書かれたカードが入っており、また、アレルギー対応の児童の食事は別皿で用意されていたようでした。

最後、感想ですけれども、中学校に比べて食事の時間を確保されているということ、台拭き等があって衛生面に配慮があり、また、食缶給食でもいいという声もあり、また、当番がその日のメニューについて説明するような食育ができています。

最後に、この運用のシステムに関する意見では、「児童が落ち着いて行動することや先生が中心となって支えることで成り立っているシステムじゃないか。」「円滑な給食実施の背景には、先生の相当な関与と配慮が必要じゃないか。」というご意見がありました。

○委員長（河村康之） 中学校を河野委員のほうからよろしいですか。

○委員（河野敏生） 代表的な意見を読ませていただきます。

給食準備時の受け取り準備に関しては、ランチ係が4名、給食衛生点検表に下痢、発熱、嘔吐、腹痛のチェック欄がある。ステンレス製の棚を使用、各クラスの定位置を決められていたそうです。

次、生徒の給食準備の状況については、3年生が卒業していましたので、1、2年生だけであったが、弁当受け取り場所は本来ならもっと混雑すると思われる。食数がさらに増えると、受け取り時間をずらさないといけないのではというご意見でした。

受け取りから教室に運ぶときの状況について、私語もなく軽々と運搬をしていた。授業準備から教室に届くまでの時間、体育の授業の後、これ2年生の教室ですが、早く終わっていた。思っていたより早いということでした。

次、給食の提供時の配膳、配置、手順の状況について、教卓に置かれている箱から自分の分のランチを取りに行くということです。1年1組は廊下で配膳をしていた。2年生のクラスは教室内で、1年生のクラスは廊下で配膳をしていた。教室ごとに違うんだなということを見ていらっしゃいました。

先生の状況については、真ん中で全体の様子を見ていた、割り箸忘れの子の対応というふうに書かれていました。

配膳から食べ始めるまでの時間について、子どもが自分で取りに行っていたので配膳とは言えないから、時間を計れませんでした。しかし、合理的に感じました。体育の授業から女子が戻ってきたのが12時27分、「いただきます」は、チャイムどおりの12時30分に行われていました。

喫食状況について、座席は36人分あるが、昼食を取っているのは29人。「7人は欠席？、それとも特別支援学級？」、列のまま黙々と食べていた。1年1組は列のままだが楽しそうな会話をしながら食べていた。教室によって雰囲気は違っていました。

先生の状況について、先生は廊下で、自身の昼食を食べながら生徒の喫食状況を見ている。特に問題もなさそうなので、食事に集中しているようだった。1年生のクラスの先生は、廊下で子どもを見ながら食べていたということです。

喫食の時間について、15分間で、時間内に食べ終わっていない子が9人。

弁当・パン持参者の状況について、38名中36名が出席で、ランチが25名、弁当が9名でパンが2名であったと。

下膳時の状況や残食の対応について、ランチについては、ほとんど残食がなかったように思う。

容器返却時の状況について、配膳室では、下膳時の行動が決まっており、下膳、ごみ捨てと役割分担が明確化されていた。残食、残飯は何もしない。

教室での生徒の状況について、スクール形式で授業のままの形態で食事。列ということですね、明るく会話しながら食べていたと受け取られています。

下膳終了までの時間について、12時50分から配膳室へ運んで片づけ、所要時間は短かった。

その他アレルギー対応について、ランチ給食の食材でのアレルギー表示を行っているので、アレルギー

ギーのある生徒は事前に分かるため注文もしない。ランチ給食でのアレルギーの除去や代替食材等を行っていないと報告されています。

皆さんのご意見です。

現在の体制で全員制となった場合は受渡しに混乱が生じそう、対応が必要と書かれていました。

ランチ給食自体は、さほど問題を感じなかった。ただ、アレルギー対応は、皆と一緒に同じ給食を食べることのできる除去や代替等ができないかと書かれていました。

食事時間です。授業は早く終わったんですよ、4時間目の授業が。早く終わっているのに食事時間がゆっくりあるかと思っていたが、僅か15分でびっくり。食べ終わっていない子が9人いた。

配膳、喫食、下膳は日々の繰り返しであり、いずれも規律正しく機敏に実施されていたと書かれていました。

時間が短いのではないかと行く前は懸念をしていたけれども、実際に現場の様子を確認したら、極端に短いという印象は受けなかった。生徒たちが運用に慣れているのかなというふうに書かれています。

給食係の生徒、他の生徒も慣れていて、手際よく準備、容器の返却がなされていた。

全員がランチ給食で、小学校みたいに、たまに選ぼうランチというのがあってもいいんじゃないか。

給食、弁当、量や中身（菓子パンやデザート）の有無について学校側はどこまで制限をかけているのか、基準が曖昧になっているのではと書かれています。

注文190プラス当日20個、55%がランチで、パンは32個だということを書いていただきました。

特に問題なかったということでした。

○委員長（河村康之） 皆さんの意見をまとめてご紹介させていただきましたが、どうですか、皆さんの中で、私こういうことを気になったんで、ここに書いてないことでも結構ですから、気になることとか皆さんにお伝えしておけばいいかなということが何かあれば、ご発言いただければと思いますが、特にないですか。

○委員（井福大昌） 本題に入る前に、4番の方は記載はどうなっているのですか。

○委員長（河村康之） 小学校、中学校、どちらですか。

○委員（井福大昌） どちらも。提出忘れですか。

○委員長（河村康之） そうですね、4は書いていないですね。

○委員（井福大昌） 全部提出忘れ。[「これ中学校と小学校は、違うんでしょう、番号が。」の声あり]

○議事課係長（生座本隆志） 違います。それぞれ別です。[「別々ですよね。」の声あり]

○委員（井福大昌） 4番の方は多分一緒じゃないですか。

○委員長（河村康之） 記入してないということですね。

○委員（井福大昌） 何も書いていない。

○委員長（河村康之） そうですね。最後の感想は書いていますか。感想は書いていますね。

みんな書いていますね、感想はね。[「同じことを書いてますね。」の声あり]

○委員長（河村康之） そのように思ったんでしょう。逆に。

○委員（井福大昌） それはあんまりじゃないですか。[「まあ、まあ、あまり言わなくて良いのでは。」の声あり]

○委員長（河村康之） 皆さんいろんな考えがありますので、ひょっとしたら、その方は問題がなかったということで、あえて記入しなかったのかなと思いますので。結果的にこうなっておりますので。

ほか何かありますか。特にないですかね。

○委員（松崎百合子） 感想の中に出てきたのか、小学校の給食ですね。スムーズに配膳もされていて、小学生ながらとてもよかった。食缶式で、減らしてもらったりとかそういう調整も利くし。

それで、とてもよかったなと思ったのは、当番の方が準備している間、本日のメニューについてとか、あと朝食の大切さとか、そういうことをずっとアナウンスしていました。みんなが同じ物を食べるということで、その日の栄養についてとか、メニューの内容についてとか、特に朝食の大切さとかについて触れられていたのは、とてもよかったと感じました。

○委員長（河村康之） ほかよろしいですか。

私も小学校、中学校は、たしか福祉教育委員会か何かのときに小学校の給食は食べに行ったことが何回かあるんですけども、中学校の給食も、毎年議会でも12月ぐらいにランチ給食を食べさせてもらっていますけれども、実際問題、どのような提供をしているかとか、どういう配膳、下膳されているかということが分かってそうで分かっていなかったのが、実際、現場で見れましたから。

また、給食時間についても、中学校が全部が30分で、15分で食べると。小学校は全部が45分で、26分ぐらいかけて食事を終わっていたと。特に中学校は15分間しかなかったけれども、食べ終わって、本か何かで勉強している方もおられましたので、多少の早い遅いはあるでしょうけれども、ランチ給食については15分程度ぐらいで食べられるんだらうなというのが改めて感じる部分がありました。

小学校については、特に学校の先生が、気の毒なぐらい自分でぱっとご飯食べて、教壇でチェックか何かしていましたよね。成績か、丸かバツか何かしています。

どっちかという、子どものことをちょこちょこ見ながらなんで難しいなと思うんですけども、それだけ先生は忙しいというのを改めて感じました、小学校はですね。

中学校は特にそういうことはなくて、廊下に出ている先生が、ご飯食べながらちゃんと子どもたちも見ながら、あの場所はいい場所で、ちゃんと見られるなという感じもしました。

とにかく、こういう小学校、中学校の給食を見られたことは、非常によかったなと私は感じております。

それで今、3名の方からお話いただきましたけれども、比較整理表を見ていただけますか。

今後、この委員会として取りまとめていって最終的な答申を出すときに、このことについてはこうでした、こんな意見が出ましたというまとめの中で、正副委員長とで考えさせていただきました。左の色のついているところ、2段目ですかね、提供方法と給食費、制度の考え方、ずっと来て、その他課題というふうになっております。

取りあえず、今回皆様からいただいた意見を吸い上げて、この黒塗りのところに落とし込んでいますね。白塗りのところ、何も書いていないところが、今回の皆さんからいただいた意見の中で特になかったということになりますので、ぜひ、これから、今日からでもいいんですけども、左のテーマ、欠食とか提供とか、制度の在り方とか、この部分の白塗りのところをみんなで協議をしながら埋めていきたいと思っています。

ただ、これでいいのかという分もあります。また、こういうことを入れたほうがいいのかということもありますので、その辺の協議を今行ってまいりたいと思います。

皆さん、どういうふうなご意見がありますか。

提供方法とか給食費とかありますけれども、公平性であったり、自由度、学校の運営、喫食までの時間、これは書いていますね、生徒の負担、保護者の給付金の申請の負担とか。学校給食法との整合性、アレルギーはあって、残食はあって、課題。特に課題が、多分、皆さんいろんな考えがありますから、これをどんどん出していただいて進めていきたいと思っていますけれども、何か皆さんの中で、こういう項目を新たに入れてもいいんじゃないかなというご意見ありませんか。

○委員（中村真一） 今、説明があったこの空いているところは、今回、小学校と中学校を見に行つて、大野城市の小学校とか中学校に対して埋めていくということでよろしいですか。

○委員長（河村康之） そうです。全員給食制の小学校、選択制の中学校の給食に対して、例えば左

の中で食育とか教育のことが、何も入れていませんから、小学校はこうだよとか、中学校は特になかったとか、もしくはこういうのがあったとか、これを調べるべきだとか、そういう意見があればお願いします。

例えば今、小学校の食育教育、先ほど松崎百合子委員のほうからお話ありましたが、給食の喫食前に食事のことをお話しされている、そういうことも行っているということは確かに入れてもいいかなと思います。そういう部分での現状の小学校、中学校についてのこの項目を今後みんなで埋めていきたいと思えますけれども、ご意見があればお願いします。

○委員（山上高昭） 今回、現地を見てきたことで、同じものを見ているんだけど、やっぱり感じ方が違うなど非常に思ったんですね。これをまとめるに当たって、いつもやっているワールドカフェ方式で話をしたほうがいいんじゃないかと。ベースを一つにしたほうが次に進みやすくなると思うので。

意見をぱっと出すよりも、出てきている意見を一度みんなでもむ、そういう機会をつくったほうがいいんじゃないかと思えます。

○委員長（河村康之） どうですか、そうやって皆さんの意見を、例えば、10人おられますから、2班ぐらいでもいいかもしれません。その中で、この左側のテーマについて皆さんどう思われるかというのを班ごと、小学校、中学校出してもらえれば。

○委員（山上高昭） これ自体をやって、ワールドカフェは入替えとかもしますので、こっちではこう話したというのを入れ替えて、しっかりとベースをそろえたほうがいいんじゃないかなと思います。

○委員長（河村康之） いいですね。

ほか、何か皆さん意見ありませんか。

○委員（井福大昌） 項目をほぼ網羅されていると思うんです。提供方法からアレルギー対応、残食まで、結構、満遍なく網羅されていると思うんですけれども、あえて項目を追加するとすれば、当事者、受益者の声という項目があったほうがいいのかないかなという気がします。

○委員長（河村康之） 例えば小学生、中学生の当事者の声を聞いたらどうかと。どういうふう聞くのかとか、保護者はいいのかとか、それも含めてですね。そういう項目を入れてもいいかもしれませんね。子どもたちの声か、そういうふうな形を入れましょうかね。

あと、皆さんのほうで、ワールドカフェをするかどうか、これから考えますけれども、協議をする内容、この左側の中に入れるような項目、何かあれば、今ぱっと思いつけば。「協議の中で出てくるでしょう。」の声あり] 出てきますね。では、その都度、協議の中でお互い言い合ってください。

というふうな形を今後進めてもよろしいですか。

○委員（大塚みどり） 給食のことで、給食がないときの夏休みに、小学校40日間、激痩せして、そして2学期を迎えるというのはよく課題になっています。

ですから、どこの項目でやるか今ずっと考えていたんですけども、朝食の実態というのは、給食の時間に3食のうち1食を義務教育で提供するという意味では、朝食の実態調査は要るかなと思うので、どっかに。教員の中で実態を調査しているのかとか、あと大野城市では、子育てのところで2,000人とかにアンケートを取るとよく朝食とかいう項目がありますから、どういうデータで出すかあれなんですけど、3食のうちの1食を学校教育で提供しているという意味では、朝食を抜いているかどうか実態が知りたいなど。栄養面とかですね、というようなには必要じゃないかなと思いました。

○委員長（河村康之） では、項目の中で食事の調査という形、朝食にこだわらずということでもいいですか。それとも長期休校の対応とか、そういう形も含めて、そういう形がいいですか。

○委員（大塚みどり） 把握は、子育てのほうとか子ども家庭庁とか、それから教育支援のほうですね、教育総務かな、そっちのほうでどこに入れたらいいというのは専門で知っていると思うので、今

かなり学校教育が変わってきているので、何かアドバイスを受けて、そこに入れていただけたらと。

もう把握されていることもあると思うので、そういうのも知りたいなと思いました。

○委員長（河村康之） 内容は別として、今、大塚委員が言われました、食事の状況、朝食を含めて子どもたちの状況についてというふうな内容に近いことで項目を入れましょうかね。よろしいですか。

あと、井福委員が言われた、子どもたちの声を聞くというふうな形も入れましょうかね。実際問題、聞けるかどうかは別として、取りあえずそのことについて話し合う、協議をするということでもよろしいですかね。

あと皆さん、よろしいですか。追加、こういうことを入れたいとか、よろしいですか。

○委員（中村慎一郎） さっき河村委員長がおっしゃったかもしれないですけども、この子どもたちの声と保護者の声ですかね。

○委員長（河村康之） そうですね、給食に対しての当事者ほかの声という形ですかね。

ほかはどこまで広がるか別として、そういうことを聞くという形ですね。どういうふう聞くのかとか、いつ聞くのかとか、それは別として、そういう声も聞くことに対してどうだろうかということも協議しましょうかね。

ほか何かございますか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（河村康之） 今お話しさせていただいて、今日皆さんからいただいたご意見、あと今後この中身を詰めていくということで、時間をしっかり取らせていただきたいと思います。

そのことの日程ですけども、いいですか、日程のほうを話させていただいて。

今日が4月8日。20日の月曜日あたりとかどうでしょうか。ちょうどこの日は、議員厚生会が10時半からあって、会派代表者会議も11時からありますから、その後、お昼からぐらいでしょうかね。それでやりたいなと思いますので、空けておいてください。

また、皆さんも、このことについて、逆にテーマが決まっていますから、まとめていただいて、小学校はこういうふうに私感じると、中学校はこう思っているよということをお話しいただいて、山上委員が言われたワールドカフェ方式ですから、まず、それを出していただく。出していただいて、こういうことがあるよと。

今後の計画ですけども、実は中間報告を6月の議会でできれば行いたいと考えています。6月の議会でやるとなると、6月の議会のときには既に、どういう報告をまとめましょうかね、まではつくっておきたいんです、6月に入るまでには。ということは、5月中にこういう報告で行きますよということをざっくりまとめておきたい。ということは、4月中に大体の案、素案みたいな形をこれを基に出していただきたいと思いますと考えていますから、今度の4月20日に行うときは、これをしっかり埋めていきたいと思います。結論は出ないかもしれませんが、取りあえずどんどん埋めるような形を取る日にしていきたいと思いますので、どんどんお話をもし出していただければと思っています。

考え方については、ワールドカフェですから、どうしますか、5人2班がいいですか。5、5でやって、交代しながら行くような形でいきましょうかね。そういう形でさせていただきます。いいですか。

協議内容が飛びましたけれども、今後の調査方法の（2）まで行っちゃいましたけれども、その方向で進めさせていただきたいと思います。

もう1回確認しますね。4月20日、お昼から、多分長くなると思いますから、昼は挟まずに昼終えてから、13時半からしましょうかね。20日13時半から、この給食委員会、ワールドカフェ方式のような形で行わせていただきます。

それで、5月の間に中間報告の方向性を決めたいと思いますから、5月の日程も決めておきたいな

と思うんですけれども。

4月20日に次やるとして、5月なんですけれども、4月末から連休があって5月、委員会視察もありますので、5月18日に会派代表者会議があります。午前11時からですね。また、22日に議会運営委員会がお昼からありますから、この2日間を取るというふうな形でどうでしょうか。

5月18日は会派代表者会議終了後、22日は議会運営委員会終了後ということで、時間は流動的になるかもしれませんが、次の20日には多分お知らせできると思います。

○委員（山上高昭） 会派代表者会議の日程をまだ聞いてなかったんですけれども。

○議会事務局長（一瀬裕子） 会派代表者会議は仮の予定になっています。

○委員長（河村康之） 仮ですね。

○委員（山上高昭） 委員会は昼からで。

○委員長（河村康之） 委員会は昼からでよろしいですかね。13時半にしましょうか。13時半からですね。

18日が13時半からで、22日は議運が13時半からですから、議運終了後ということで。14時ぐらいになるのか、大体14時めどで。多少ずれるかもしれませんが、議運終了後で、14時から特別委員会を行わせていただきたいと思います。

よろしいですか。日程のほうは、4月20日、5月18日、5月22日の取りあえずこの3回まで行ってまいりたいと思います。

6月に最終的な報告をまとめるんですけれども、6月の中間報告では、少しずつ決めていきたいなと思いますので、小学校、中学校は、今、給食が、完全給食全員制であったり、また、選択制でもありますから、中間報告のときには、全員制か選択制かくらいまでは出せるような形に行っていきたいかなと思ってます。その中間報告で、どちらかの結論といいたいでしょうか、委員会としての方向が見えたら、その後、その方向について、どのようなことを今後やっていけばいいかということで。

当初6月までにいろんな給食施設とかを見に行くのもどうかとありましたので、それはその中間報告が終わってからか、中ぐらいから行ければという形で今後計画をしていきたいと思います。

皆さん、よろしいですかね。

○委員（松崎正和） 委員会としてこういう方向だということじゃなくして、委員会としてはこういう意見が出たということ報告することです。

○委員長（河村康之） そうです。ありがとうございます。まとまらんで、あくまでもこういう意見が出ていますという形で中間報告をさせていただきます。分かりました。

あと、何かございますか、日程の件とか、今度20日の件も含めて何かございますか。よろしいですか。

副委員長、何かありますか。

○委員（岡部かおり） 補足で、この比較整理表は、あくまでも事実関係を整理するということではないんですよね。そして、課題が一番大事になると思うんですけれども、何もかもが、委員それぞれの意見を入れてしまうと、また同じアンケートになっちゃうので、しっかりとした事実確認を今度4月20日のワールドカフェ方式で出して、その後にこれを記入したほうがいいんじゃないかなと思うんですけれども、どうでしょうか。

○委員長（河村康之） どうでしょうか。今、副委員長言われたように、この中の中学校、小学校は現状を出していただく。要は課題だと思うんで、課題は皆さん取り方が様々だと思いますから、課題をざっと列記していただいて、皆さんのご意見いただいて、それを5月18日と22日で詰めていくような形で、委員会としては報告をさせていただければと思っております。よろしいですか。

皆さんのほうから何かございますか。

○委員（中村慎一郎） まず、今のワールドカフェとかの日程とはまた別なんですけれども、視察の件で、どなただったか、小学校で次回給食センターを見に行きたいと意見があるんですけれども、感想、問題点のところですね。

小学校の給食センターなのか、ほかのセンターなのかは分かりませんが、小学校の給食センターを見るのも一つあるかなという。いや、大丈夫です。ごめんなさい、間違えました。

給食センターについても多分視野に入れていると思うんですけれども、そこは実際に調理しているところを見られたらいいのかなと。

○委員長（河村康之） イメージ的には、調理している部分を見て逆にどうなのかなと思うから、調理はもうある意味、委託をお願いするような形になればお任せになると思うので、逆にどういう理念といたしましょうか、どういうことを考えているか、もしくはアレルギーについてはどう考えているのか、配送時間はどうやってるのか、温度はどれぐらいなんですとか、具体的なものになると思う。食材はどこなのかとか、になると思うんですけれども。

○委員（中村慎一郎） なるほど。

○委員長（河村康之） 聞くなら、見に行く必要があるのか、来てもらってレクチャーしてもらうのか、それはどっちかなというのはまだこれからだと思います。

○委員（中村慎一郎） もう一つ、現場を見たいなと思ったのが、衛生状態、衛生管理も見てみたいなというのもある。

○委員長（河村康之） 多分衛生はちゃんとしていると思う。汚い、ぼろぼろで調理は多分ないとは思いますが。視察も含めて、またみんなで話しましょう。行くのであれば、そういうことも考えて、どういう方向で行くのかというのも考えましょう。

よろしいですかね、皆さん、ほかにありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（河村康之） では、次回、4月20日、13時半ですね。

○議事課係長（生座本隆志） 参考までに、何か入力されたりするのであれば、この資料を各委員に配付させていただきます。

今チャットでしかお送りしていないので、何かフォーマットが必要ということであれば、エクセルの様式で皆さんのメールに送らせていただきます。

○委員長（河村康之） そうしていただくと助かります。あくまでもこの上の段というのは、現状どうかと自分の視点で見た感じで、こうなればいいとかは、下の課題欄に打ち込んでいただいて。課題欄が足りないかもしれんけれども、広くしていただいて。

よろしいですかね。

以上で第5回の給食委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

（閉会 午後1時43分）